

## 論文審査の結果の要旨及び担当者

報告番号	博（医）乙第 1791 号	氏名	馬場 健
論文審査担当者		主査教授	大園 恵幸
		副査教授	中尾 一彦
		副査教授	蒔田 直昌
論文審査の結果の要旨			
<p>1、研究目的の評価</p> <p>本研究は、被爆者における冠動脈疾患及び脳卒中の予測因子の一つとして腹部超音波検査により診断された脂肪肝の可能性を検討したもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2、研究手法に関する評価</p> <p>長崎被爆者 2024 名を対象に行った腹部超音波検査にて脂肪肝の有無を検討し、その後約 10 年間の追跡で、脂肪肝が、冠動脈疾患および脳卒中の出現の予測因子になる可能性を種々の統計学的解析法で解析したもので、研究手法も妥当である。</p> <p>3、解析・考察の評価</p> <p>上記手法で解析した結果、被爆者においては、腹部超音波検査で診断された脂肪肝は、冠動脈疾患発症の予測因子となりうるが、脳卒中については認められないことを明らかにし、今後の被爆者における心血管系疾患の予測因子に関する研究への進展が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は、被爆者における放射線疫学研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			